

九州大学「環境・遺産デザインプロジェクト」成果発表会
宗像で考え 宗像に提案する
～日の里から世界遺産まで～

九州大学芸術工学研究院は、2015年度の「環境・遺産デザインプロジェクト」に宗像市を選び、地域資源の価値を将来に継承できる持続的な地域環境の維持・創成手法を学ぶためのプロジェクト研究を行ってきました。昨年5月には受講する全大学院生が現地調査を実施。4グループに分かれテーマ設定した研究結果がまとめられ、研究成果発表会を開催します。九大学院生が、環境・歴史的な景観と都市景観をデザインし、宗像市のまちづくりに提案します。

日時:平成28年2月14日(日)14:00～17:00

場所:日の里地区コミュニティセンター 多目的ホール

主催:九州大学大学院芸術工学府環境遺産デザインコース、宗像市

プログラム

開会・主旨説明	九州大学大学院芸術工学研究院 准教授 藤田 直子
開会挨拶	宗像市長 谷井 博美
第一部 基調講演	創造力と想像力を活かした宗像よみがえりへのエール ～九州大学『環境・遺産デザインプロジェクト』がめざす持続可能な地域再生へ向けて～ 九州大学大学院芸術工学研究院 教授 藤原 恵洋
第二部 4グループ発表	
日の里空き家グループ	「空家問題解決!? 5丁目再生を核とした日の里版C C R Cの提案」
日の里暮らしグループ	「幸福度と居住意思の調査から見えてきた日の里の暮らしの現在と未来」
日の里駅前活性化グループ	「よゆう(夜遊・余裕)がある東郷駅前商店街再生デザイン」
世界遺産グループ	「世界遺産に向けた地域づくりの可能性～神湊から大島まで～」
(ポスターセッション)	
参加者の方々から学生の発表に対する感想やコメントを募集	
第三部 パネルディスカッション	「みんなで考えよう宗像の未来 ～日の里から世界遺産まで～」
コーディネーター	藤田直子(九州大学大学院芸術工学研究院 准教授)
パネリスト	
牧 敦司	(株式会社醇建築まちづくり研究所 代表取締役所長 / 宗像市都市再生事業推進協議会 会長)
西村正則	(UR都市機構九州支社 住宅経営部 団地マネージャー)
今川泰志	(日の里地区コミュニティ運営協議会 会長)
藤原恵洋	(九州大学大学院芸術工学研究院 教授)
近藤加代子	(九州大学大学院芸術工学研究院 准教授)
河野克也	(宗像市 都市戦略室長)
閉会挨拶	九州大学大学院芸術工学研究院 准教授 近藤 加代子